

第3章 二つの世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と帝国日本
3 大戦による社会の変化と社会運動 (p. 100~101)

大戦景気と重工業化の進展

- ・大幅な〔 〕超過により〔 〕が到来
アジア市場への綿布,〔 〕の輸出増大
ヨーロッパへの〔 〕の輸出増大
アメリカへの〔 〕の輸出増大
- ・重工業化が進展
〔 〕,〔 〕,鉄鋼業,機械工業,化学工業,電力業が急速に発達
→鉱工業生産額が全生産額のほぼ半分に
- ・〔 〕の登場
- ・〔 〕の経済界への支配強まる
- ・1920年〔 〕
ヨーロッパ各国の輸出が再開
→日本のアジア輸出が減少

物価急騰と米騒動

- ・大戦景気で輸出増加
→国内で生活必需品不足
→物価が急騰,民衆は生活難
- ・1918年〔 〕
〔 〕県の女性が米の県外移出に反対
→全国化し,政府は警察・軍隊により鎮圧
→〔 〕内閣総辞職

社会運動の発展

- 労働者,小作農,女性,被差別部落の人々の社会運動が発展
- ・1912年〔 〕
〔 〕が組織
当初,労働者の共済・修養団体
↓
 - ・1921年〔 〕
広く労働運動を指導
 - ・1920年 日本初の〔 〕
 - ・1922年〔 〕結成
日本初の全国的農民組織
小作地の耕作権確立をめざす
 - ・1922年〔 〕結成
被差別部落解放の全国組織
被差別部落の人々自身の解放をめざす
 - ・1922年〔 〕組織
非合法政党
背景に社会主義・共産主義思想の広まり